

「キリストの血の効力」

ヘブル書 9章11～14節

しかしキリストは、すでに実現した
すばらしい事柄の大祭司として来られ
人の手で造った物でない、すなわち

この被造世界の物でない、もっと偉大な
もっと完全な幕屋を通り

また、雄やぎと子牛の血によってではなく
ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に
入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を
汚れた人々にふりかけると

それが聖なるものとする働きをして
からだをきよいものにするのなら

まして、キリストが傷のないご自分を

とこしえの御霊によって神にお献げになった
その血は、どれだけ私たちの良心をきよめて
死んだ行いから離れさせ

生ける神に仕える者にするごことでしょうか。

前回のまとめ

動物の血は、人の罪を消し去ることはできなかった。

毎年、繰り返して、動物の血をささげなければならなかった。

人は、毎年、自分の罪を思い出さなければならなかった。

今回のポイント

イエス・キリストの血は・・・

1. 永遠の贖いを成し遂げた
2. (私たちの) 良心をきよめた(る)
3. (私たちを) 生ける神に仕える者とした(する)

1. 永遠の贖いを成し遂げた

しかしキリストは、すでに実現した
すばらしい事柄の大祭司として来られ
人の手で造った物でない、すなわち

この被造世界の物でない、もっと偉大な
もっと完全な幕屋を通り

また、雄やぎと子牛の血によってではなく
ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所
に入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を
汚れた人々に振りかけると

それが聖なるものとする働きをして
からだをきよいものにするのなら

まして、キリストが傷のないご自分を

とこしえの御霊によって神にお献げになった
その血は、どれだけ私たちの良心をきよめて
死んだ行いから離れさせ

生ける神に仕える者にするものでしょうか。

キリストの贖いは、**ただ一度**

キリストも、多くの人の罪を負うために
一度、ご自分を献げ…

9章 28節

このみこころにしたがって、イエス・キリスト
のからだだが、ただ一度だけ、献げられたこと
により、私たちは聖なるものとされています。

10章 10節

キリストは、罪のために

一つの永遠のいけにえをささげて後
神の右の座に着き

10章 12節

キリストは聖なるものとされる人々を

一つのささげ物によって

永遠に完成されたからです。

10章 14節

年ごとに自分の血でない血を携えて

聖所に入る大祭司とは違い

キリストはご自分を

何度も献げるようなことはなさいません。

へブル9章25節

キリストの贖いは、完全

律法は、**年ごとに**絶えず献げられる同じいけにえによって、神に近づく人々を完全にすることができません。

それができたのなら

礼拝する人たちは一度できよめられてもはや罪を意識することがなくなるのでいけにえを献げることは終わったはずです。

ところがむしろ、これらのいけにえによって罪が、**年ごとに**思い出されるのです。

雄牛と雄やぎの血は

罪を除くことができないからです。

律法は、年ごとに絶えず献げられる同じいけにえによって、神に近づく人々を完全にすることができません。

それができたのなら

礼拝する人たちは一度できよめられてもはや罪を意識することがなくなるのでいけにえを献げることは終わったはずで

ところがむしろ、これらのいけにえによって罪が、年ごとに思い出されるのです。

雄牛と雄やぎの血は

罪を除くことができないからです。

1年間、公的に献げる動物

1,273頭

(民数記28~29章)

1,273頭 × 1,500年

(モーセ～キリストに至るまでの年月)

1,273頭 × 1,500年

= 1,910,000頭

約200万頭の流された血潮は

人一人の罪さえも、ゆるすことはできないのである。

この事実は、

① 人間の罪の大きさ

② キリストの身代わりの死の絶大な価値

を、教えている。

キリストの贖いは、永遠

しかしキリストは、すでに実現した
すばらしい事柄の大祭司として来られ
人の手で造った物でない、すなわち

この被造世界の物でない、もっと偉大な
もっと完全な幕屋を通り

また、雄やぎと子牛の血によってではなく
ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に
入り、**永遠の贖い**を成し遂げられました。

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を
汚れた人々に振りかけると

それが聖なるものとする働きをして
からだをきよいものにするのなら

まして、キリストが傷のないご自分を

とこしえの御霊によって神にお献げになった
その血は、どれだけ私たちの良心をきよめて
死んだ行いから離れさせ

生ける神に仕える者にするごことでしょうか。



至聖所

聖所

贖罪の日 大祭司が至聖所に入る日



イエスは、再び大声で叫んで霊を渡された。
すると見よ

神殿の幕が

上から下まで

真っ二つに、裂けた。 マタイ27章

こういうわけですから、兄弟たち。

私たちは、イエスの血によって

大胆にまことの聖所に入ることができ
るのです。

イエスは

ご自分の肉体という垂れ幕を通して

私たちのために

この新しい生ける道を

設けてくださったのです。

へブル 10章 19 ～ 20節

2. (私たちの) 良心をきよめた(る)

しかしキリストは、すでに実現した
すばらしい事柄の大祭司として来られ
人の手で造った物でない、すなわち

この被造世界の物でない、もっと偉大な
もっと完全な幕屋を通り

また、雄やぎと子牛の血によってではなく
ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に
入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を
汚れた人々にふりかけると

それが聖なるものとする働きをして
からだをきよいものにするのなら

まして、キリストが傷のないご自分を

とこしえの御霊によって神にお献げになった
その血は、どれだけ私たちの良心をきよめて
死んだ行いから離れさせ

生ける神に仕える者にするごことでしょうか。

イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました。

また私たちには、神の家を治める

この偉大な祭司がおられるのですから

心に血がふりかけられて

邪悪な良心をきよめられ

からだをきよい水で洗われ

全き信仰をもって

真心から神に近づこうではありませんか。

へブル 10章 20 ～ 22節

1. 永遠の贖いを成し遂げた

2. (私たちの) 良心をきよめた(る)

しかしキリストは、すでに実現した
すばらしい事柄の大祭司として来られ
人の手で造った物でない、すなわち

この被造世界の物でない、もっと偉大な
もっと完全な幕屋を通り

また、雄やぎと子牛の血によってではなく
ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に
入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を
汚れた人々に振りかけると

それが聖なるものとする働きをして
からだをきよいものにするのなら

まして、キリストが傷のないご自分を

とこしえの御霊によって神にお献げになった
その血は、どれだけ私たちの良心をきよめて
死んだ行いから離れさせ

生ける神に仕える者にするごことでしょうか。

3. (私たちを)

生ける神に仕える者とした(する)

しかしキリストは、すでに実現した
すばらしい事柄の大祭司として来られ
人の手で造った物でない、すなわち

この被造世界の物でない、もっと偉大な
もっと完全な幕屋を通り

また、雄やぎと子牛の血によってではなく
ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に
入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を
汚れた人々にふりかけると

それが聖なるものとする働きをして
からだをきよいものにするのなら

まして、キリストが傷のないご自分を

とこしえの御霊によって神にお献げになった
その血は、どれだけ私たちの良心をきよめて
死んだ行いから離れさせ

生ける神に仕える者にするごことでしょうか。

主のことばがあなたがたのところから出て
マケドニアとアカイアに

響き渡っただけでなく

神に対するあなたがたの信仰が、あらゆる
場所に伝わっています。そのため、私たちは
何も言う必要がありません。

人々自身が私たちのことを知らせています。

私たちがどのようなにあなたがたに受け入れ
てもらったか、また、

あなたがたがどのようなに偶像から
神に立ち返って

生けるまことの神に仕えるようになり

御子が天から来られるのを待ち望むように
なったかを

知らせているのです。

今回のまとめ

イエス・キリストの血は・・・

1. 永遠の贖いを成し遂げた
2. (私たちの) 良心をきよめた(る)
3. (私たちを) 生ける神に仕える者とした(する)